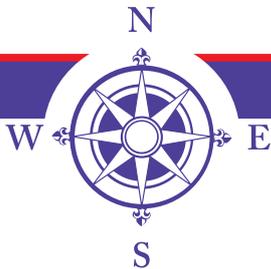


KANDAI NEWS

■ 関大ニュース



大阪府堺市に新キャンパス開設 2010年4月、「健康文化学部」を展開

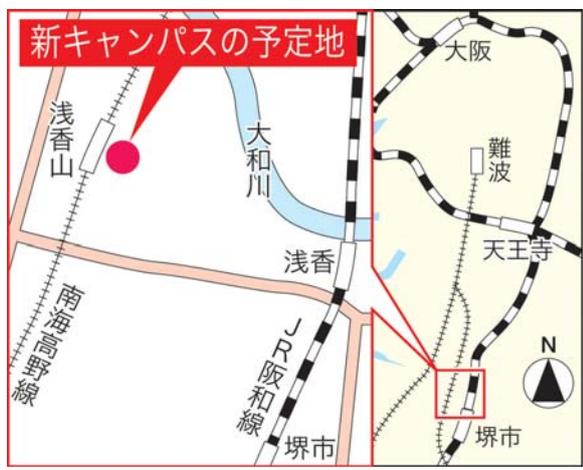


選定結果を受け握手を交わす、(左から)森本理事長、木原敬介市長、河田学長

関西大学は、堺市立商業高等学校・第二商業高等学校の校地に、2010年4月から「健康文化学部」を展開する。

昨年8月に堺市から発表された同校地における大学等高等教育機関設置企画提案に関する公募に対して、本学校法人が12月に企画提案書を提出し、2月に堺市から優先交渉権者に選定された。今後、基本協定を締結し、具体的な開設準備を進めていく。

同学部には「健康福祉」「スポーツ・身体文化」「健康とユーモア科学」の3領域を設置する予定。在学生に対して健康福祉、スポーツ・身体文化、ユーモア科学などに関する専門的教育を行う一方で、市民が健康で文化的な生活を送ることができるよう、女性、シニア層に対するリカレント教育など各種の支援・連携事業を展開することにより、積極的な地域貢献を行う。



来春、外国語学部(仮称)を新設

関西大学は2009年4月に、本学で11番目の学部となる外国語学部(仮称)を新設する。英語教育専修、中国言語文化専修、外国語コミュニケーション専修の3専修で、入学定員は150人。

グローバル化がこれまで以上に叫ばれる今日、「国際的精神の涵養」と「外国語の必要性」に対する社会の要請に応えるため、(1)教育改革の最大の要点である優れた外国語科目担当教員の養成と、(2)実践知性としての高度なコミュニケーション能力を備え、国際舞台で幅広く活躍するリーダーを養成することを目的としている。文部科学省への届け出は本年6月に行う予定。

高松塚古墳の壁画、豊臣期大坂図屏風 美術陶板で再現し展示

関西大学は、高松塚古墳の壁画と豊臣期大坂図屏風という貴重な歴史遺産を美術陶板で再現し、千里山キャンパス内に常設展示する。

高松塚古墳の極彩色の壁画は、陶器と磁器の間となる素材「せつ器」を素材とする陶板を使い、原寸と同じ大きさの東壁、南壁、西壁、北壁、天井を製作し、発見直後(2~3日以内)に撮影された写真を元に描かれていた壁画の色彩と、はがれ落ちた漆喰などの立体感までも再現した。

展示施設の「高松塚古墳壁画再現展示室」は、本学の網干善教文芸部助教授(当時)が1972(昭和47)年3月、考古学研究室の学生らとともに高松塚古墳の壁画を発見してから35年経過したことを記念して設置され、3月11日に完成した。今後、学生だけでなく一般の方々にも無料で公開する。

同じく美術陶板で再現された豊臣期大坂図屏風は、完成した第1学舎1号館2階ロビーに展示。この屏風は、オーストリア南部のグラーツ市にあるエッゲンベルク城内に残されているもので、絵師や制作年代、オーストリアに渡った時期や経緯については不明のため、関西大学とグラーツ市内の州立美術館が共同研究を進めている。

新館が相次いで竣工 第4学舎3号館、第1学舎1号館

第4学舎3号館は3月6日に竣工。地上5階建て、延床面積5,612.68㎡を有し、最新の授業支援設備を備え付けた教室や実習施設のほか、建物東側には体育活動施設として、1階から4階までを吹き抜けにし、全面に人工芝を敷設した屋内練習場を設置。さらに屋上には、4面のオムニコートと155人収容の観客席を備えた“空中テニスコート”がある。

第1学舎1号館は3月17日に竣工。地上6階建て、延床面積11,329.36㎡を有し、教室や実験・実習施設のほか、2階ロビーには豊臣時代の大坂城や大坂の町並みが描かれた「豊臣期大坂図屏風」を美術陶板で再現のうえ展示している。



第4学舎3号館



第1学舎1号館